

としまち研掲示板

△▼△としまち研 各部会の次回開催予定△▼△

共同建替え部会	1月 29日(水)
コーポラティブハウス部会	1月 28日(火)
団地・マンション再生部会	1月 23日(木)
人と暮らし部会	1月 21日(火)
総務部会	
広報部会	

としまち研会員の方であれば誰でも部会に参加できますので、是非ご参加ください。

☆プロジェクトニュース☆

・コーポラティブハウス羽根木公園

新築工事に着工し、現在は地階の掘削工事を行っています。1月19日(日)に総会と共用部検討委員会、ミニ新年会を開催しました。



ミニ新年会で乾杯

第2回防災対策情報交流会を開催しました

12月7日(土)に、第2回防災対策情報交流会を開催し、4棟のコーポラティブハウスの方が参加されました。今回は、①防災備品の紹介 ②震災時活動マニュアルを使った防災訓練実施の報告を行いました。



防災備品紹介

今後は建物ごとの震災時活動マニュアル作成の提案・検討会を行っていく予定です。



非常食のお粥を試食

としまち研会員募集

としまち研では、活動に参加して下さる方(正会員)や活動を応援して下さる方(賛助会員)を募集しています。

詳しくはとしまち研のホームページをご覧ください。

まちづくりのご相談は事務局へ

○借入金があるが何か建替えの方法はあるか。  
○お隣りも建替えを考えているようだが共同建替えは自分たちでは調整できない。  
というような難しいご相談も検討します。  
お気軽にご相談ください。

編集後記

東松島の通信と発行が重なり、飛澤さんのピンチヒッター(?)として編集をお手伝いしました。4ページの紙面の中で、構成は、写真は...と考え出すと盛りだくさん。特集では、各部長から皆様への熱いメッセージが伝わればと思います。

年明け早々、胃腸炎が猛威のようです。我が家も1月に入ってから、娘にはじまり家族も、この冬2度目の胃腸炎に襲われました。皆さま、手洗い等くれぐれもお気をつけください。今年もよろしくお願いいたします。(事務局 五十嵐)

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町33 COMS HOUSE 2階  
tel 03-5207-6277 fax 03-5294-7326  
E-mail info@tmk-web.com ホームページ http://www.tmk-web.com/  
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研現在の会員数  
正会員 66人 賛助会員 32人  
編集発行人 平石郁夫  
事務局担当 飛澤玲奈

としまち研会報 第67号

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

おいらのまち

2014.1

発行 NPO 都市住宅とまちづくり研究会 理事会

東松島シフト～今年もがんばろう～

昨年11月下旬のとしまち研理事会の議論のなかで、杉山の頭の中は「東松島シフトではないか。」と指摘されました。東松島市の東矢本駅北地区まちづくり整備協議会の昨年の大きな課題である個別に家を建てる世帯の区画決めが終了した直後の理事会だったので、「東松島シフト」を考える機会になりました。



年明けの役員会

としまち研が東松島市との接触をもった2011年11月17日の翌週には、としまち研理事会を開いて次のような決定をしています。

- (1) 東松島市からの復興支援要請は、としまち研として可能な限りがんばる。特に住宅づくり・まちづくりは、事業のつくり込みからユーザーの入居まで、これまでの取り組みの経験を活かす。
- (2) 東松島市に調査団を派遣し、復興政策部に再度全体説明と質疑、被災地及び移転先候補地の案内をお願いする。早急にとしまち研の提案をまとめ、東松島市に提出する。
- (3) としまち研として実施中の事業に責任をもって取り組み、かつ、復興支援の実があげられるように、会員全体で支える。

そして、この決定に従って、調査団を組織して視察に行き、東松島市に大胆な提案をし、その後の調整で具体的な課題に絞りながら、紆余曲折を経て、今日まで復興支援に取り組んできています。

今年は、災害公営住宅分野での基本設計プランの検討、どの世帯がどこに住むかの住戸位置決めを皮切りに、暮らしやすいまちのための公園や集会所などの公共施設計画の検討、街並みルールの確定、そして「新しいまち」の維持・管理組織の構想づくりを協議会活動の基本に据え、交流会、勉強会を行い、かつ、まちづくり通信をしっかりと発行していくという取り組みを行います。

しかし、一方で(3)にあるような「実施中の事業」の次の事業展開を考えないと、としまち研そのものの存続にかかわることも明らかです。としまち研が取り組めそうな共同建替え、コーポラティブハウス事業その他のネタの事務局への情報提供をお願いして、今年も「東松島シフト」が続けられるようがんばりたいものです。(としまち研理事長 杉山昇)

おいらのひとりごと

『おいらのひとりごと』はとしまち研会員によるリレー形式のエッセイです。

『七福神』としまち研 田辺誠史

日頃の運動不足を解消すべく散歩も兼ねて、先日、七福神めぐりに初めてトライしてみました。日本のお正月に欠かせないこの七福神は、恵比寿・大黒天・毘沙門天・福祿寿・寿老人・布袋・弁財天の7神からなり、この中で日本出身の神さまは恵比寿さま1人だけ。他の神さまは、インドや中国など全て海外から招来した神さまということを知りました。意味を知って参拝すると、日頃の雑念が薄れ、心が洗われた気がします。

七福神といえば、7人の神さまが1つの宝船に乗った絵が有名ですが、この絵は七福神めぐりを全国に普及させた徳川家康がはじまりのようです。複数の神さまを拝む文化が、現在まで色濃く残っていることは、特定の神さまをあまり信仰しない日本らしい文化であると感じています。また、七福神めぐりの参拝者は、不況の時に多いとのこと。困ったときの神頼みといったところでしょうか。

※次号の『ひとりごと』は葛西充さんです。お楽しみに。

一木会ご報告 (原則、毎月第一木曜日に COMS HOUSE で行う勉強会・交流会です)

★第220回一木会 (2013. 12. 12)

年末恒例の古今亭駿菊師匠と三遊亭粋歌さんの落語会。駿菊師匠は「明烏(あけがらす)」という“堅物が実はもてる、という、吉原の噺”。粋歌さんは、「コンビニ算段」というコンビニのアルバイトの新作落語と踊り。この一木会があるとなりの瀬を感じるという人も多くなりました。また今年の年末も…。



★第221回一木会 (2014. 1. 9)

としまち研の杉山昇理事長が、東松島市の震災復興の取り組みを報告しました。この取り組みは、多くの皆さんのボランティア、すなわち、自発的で無償の行為によって支えられています。後半の一分間スピーチは、今年の震災復興支援の決起集会にもなりました。今年も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



今後の一木会予定

- ☆2月(2月6日)【第222回一木会】☆ 諏訪2丁目住宅マンション建替組合理事長 加藤輝雄氏「史上最大のマンション建替え作戦(仮題)」
☆3月(3月6日)【第223回一木会】☆ 建築家・㈱エーアンドエーセントラル代表 丸谷博男氏「エコハウスの取り組み(仮題)」



特集 としまち研の各部会長から「2014年の抱負」

共同建替え部会

今年は、共同建替え事業の実施を目標にしたいと思います。事例の勉強会も大事ですが、事業に取り組むことで、いろいろな発想ができ、新たな手法もできてきます。としまち研として得意とするのは、コーポラティブ方式との組み合わせによる比較的小規模な共同建替えですが、これまでは、住宅デベロッパーとの等価交換事業の事例もあります。過去の経験を活かし、地権者の想いを大切にしたい建替え事業を実践できればと思います。また、密集市街地での共同建替え事業も…と、思いが膨らみます。これまでの経験をもとに、地権者の皆さんの要望をふまえた共同建替え計画案を作成できるよう、関係各所にも働きかけ、事業化できそうな案件の発掘をしていきたいと思っています。(坂口耕司)



密集市街地での取り組み

コーポラティブハウス部会

昨年末に「コーポラティブハウス設計マニュアル作成小委員会」を立ち上げ、設計の進め方の規準や過去の問題点を洗い出し、今後の設計に役立つマニュアル(になるかどうか?)を作成する準備を始めました。実際の事業では、実に多くの課題が出てきます。それは多くの人に関わり、大切な住まいをつくることですから、当然でもあります。その際に、少しでも過去の経験を生かし、集合住宅の設計、技術や生活スタイルなどの時代の変化にも対応していかなければなりません。現在17棟目のコーポラティブハウスに取り組んでいますが、しっかり基本を見つめ直す姿勢を大事にしていきたいと思っています。今年度の活動方針に本の出版を掲げましたが、今のところ予定は立っていません。3月までには無理でも、このような活動を積み上げ、としまち研第2弾の出版へとつなげていきたいと考えています。(本間充一)

団地・マンション再生部会

昨年は、ロイヤル一番町やセントラルレジデンス四番町シティハウス等で大規模修繕のコンサルタントに、また、ジークレフ駒場で本格的なマンション建替えのコーディネートに取り組むことができました。管理組合主体の団地・マンション再生の支援を目標に、としまち研会員の専門技術等を活かした役割分担をし、共同して取り組むことにより、難しい大規模修繕のコンサルティングやマンション建替えのコーディネートを十分にやりきれることを実感した一年でした。今年は、新たな団地・マンション再生に取り組めるよう、関係の方々へ働きかけると共に、増加する管理組合からの相談案件(管理規約等の作成や改正、防災マニュアル等)を含め、様々な取り組みにより多くの会員に参加してもらい、それぞれの得意分野を活かしながら取り組んでいければと思っています。(市野恵司)

人と暮らし部会

人と暮らし部会は、「ひとりでも安心して暮らせる住まいづくり」という目標があり、人が生きるために、孤立をせず、人と人がかかわり、共生していく環境をいかに構築するか、という視点が大切と考えています。そのための取り組みとして、コーポラティブハウス間の防災対策交流会の企画やシェアハウスの運営管理などを行っています。今年は、東松小町内でコミュニティカフェを開業することを目標に提案書を作成し始めました。まずは、これらの活動をしっかりと行い、また、としまち研の各部会をソフトな面で幅広くサポートし、人々の暮らしに寄り添った活動をしていきたいと思っています。今できることを誠実にコツコツと続けていけば、そこから信用・信頼は築かれていくものと信じて、今年の干支にちなんで駿馬が駆けるスピードと迫力をもって、検討を現実化・実行していきたいと思っています。(大須賀和宏)



シェアハウスでの鍋パーティ

総務・広報部会

総務部会では、昨年、共同建替え部会より移管された「神田を楽しむ会」をより充実した会にするため、まずは「神田を歩こう会」を今年前半には実行したいと思っています。また、これからは神田にこだわらず、みんなが参加したくなるような企画をしたいと思っています。広報部会では、としまち研を設立してから、5回目の改訂版パンフレットを発行すべく準備しています。今回は実りはじめた復興支援活動も含めて、としまち研の理念や活動が誰にでも分かりやすく理解していただけるような内容に、そしてほのぼのとした、また今までにない爽やかなデザインにしたいと考えています。ホームページは一昨年リニューアルをしましたが、更新内容の見直しを行い、最新の情報を出来るだけ早くお届けできるように頑張ります。(平石郁夫)

ジークレフ駒場マンション建替え 地鎮祭を行いました

昨年11月いっばいで「ジークレフ駒場」を解体し、12月1日(日)に建替え工事の安全を祈願する地鎮祭を執り行いました。雲一つない真っ青な空のもと、土地の氏神さまである代々木八幡の神主様をお迎えし、計画地で式典を行いました。建替えを検討し始めて約3年、いよいよ新築工事が始まります。式典の後に行われた直会では、工事を担当する松井建設へ、安全に留意し、しっかりとしたマンションを造ってくれるよう、組合員一同でお願いする場面もありました。従前9世帯のマンションは、建替えにより完成後には23世帯のマンションになります。工事期間中、建替組合では、新しいマンションでの管理内容や建物名称等の検討を行い、来年初頭の完成に備えていきます。(としまち研理事 市野恵司・事務局 飛澤玲奈)



直会も和やかに



地鎮祭の様子